

新たに発見された「竜脚類恐竜の歯と恐竜の骨質化した腱化石」について

(1) 概要

このたび令和元年冬に徳島県勝浦町において、恐竜化石の発掘調査で発見したものの中から、新たに2点が恐竜化石と判明しました。

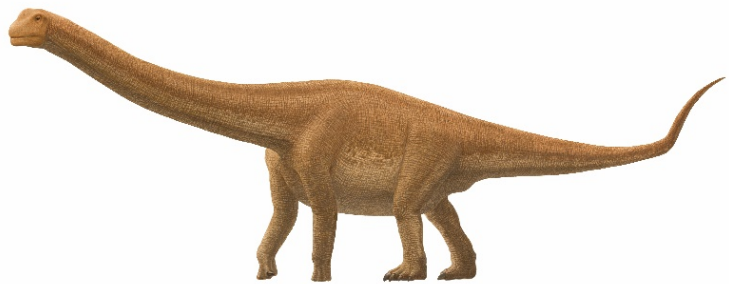
(2) 新たに発見された恐竜

① 竜脚類ティタノサウルス形類（植物食恐竜）の歯化石

- ・徳島県内では7点目となる竜脚類ティタノサウルス形類の歯
- ・これまで勝浦町で発見された竜脚類の歯の中でも最大級のサイズ
- ・全長約10cmと推定されている福井県産の竜脚類フクイティタンの歯（約3.4cm）よりも大きいことから、全長10cmを超える竜脚類恐竜だと推定される。



竜脚類の歯：長さ約3.7cm、幅約1.5cm



竜脚類ティタノサウルス形類の復元画（©山本 匠）

② 恐竜の骨質化した腱化石

- ・徳島県内では3点目となる恐竜の骨質化した腱化石（※恐竜の一部のグループ〈イグアノドン類を含む鳥脚類など〉は、椎骨を補強するため、腱組織を骨質化させる。）



腱化石：長さ約2.5cm

(3) 公開

これらの化石は、令和元年冬に発見した獣脚類アロサウルス上科（肉食恐竜）の歯とともに徳島県立博物館常設展内トピックコーナー（令和2年5月9日（土）～6月28日（日））で一般初公開します。

※施設ご利用の際には、手指の消毒、マスクの着用など、感染防止にご協力くださいますようお願いいたします。



獣脚類の歯：長さ約4cm